

年 頭 の 挨拶

愛知県自動車車体整備協同組合 理事長 金原正和



新年明けましておめでとうございます。

愛知県自動車車体整備協同組合理事長の金原正和です。

2019年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

平成の元号も本年で最後となり、5月からは新たな元号となります。

また、来年は57年ぶりとなる東京オリンピックが開催予定であり、6年後の大阪万博開催予定、更にその翌年には愛知県でアジア競技大会が開催予定など、日本が世界中から注目されるイベントが目白押しに続きます。

その効果が良い方向へ向いて、景気低迷からの回復の前兆となり、それが市民生活に反映されることを大いに期待するところです。

日本を取り巻く世界情勢は、米国との友好関係を保ってはいるものの、中国及び韓国との微妙なズレが生じてきており、北朝鮮を含めた近隣諸国との関係に危機感が続いているところです。

昨今、100年に一度と言われる大きな変革期に来ております我々の日常生活に無くてはならない自動車は、人工知能（AI）に任せる自動運転の実証実験が各地で実施されており、近未来の空飛ぶ車の開発も始まっております。

一方、環境への配慮や交通事故を減らす目的により開発され主流となっている先進安全自動車（ASV車）は、衝突安全制御装置と軽量で強固なボデー構造を兼ね備えた車なので、これからの車体整備事業者にはアクティブセーフティ&パッシブセーフティと言われる知識・修理技法は欠かす事の出来ない要項と考えられます。

3年目となります日車協連の「高度化車体整備技能講習」及び自主認定制度の「先進安全自動車対応優良車体整備事業者」の認定数も全国的に増加しており、今後更に伸びていくものと予想されて、それに伴う車体修理記録簿や高度化設備の揃っていない事業者との連携が急務となってきております。

認定事業者の活動が愛車協の知名度を上げ、安心・安全な車体整備を提供する業界団体と事業所である事を多くのユーザー様にアピールする活動は、車体整備業としてのブランド化に繋がるとともに、

信頼のできる認定事業者の安心感のある修理は業界の資質と信頼向上に繋がります。

厳しい現状ではありますが、魅力ある事業を積極的に推進し、愛車協を支えて頂いている組合員の皆様に貢献出来ればと思っております。

最後になりますが、本年も組合員、賛助会員及び関係団体皆様方の益々の発展とご活躍を祈念するとともに、役員一同、精一杯頑張りますので一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

